

## 令和6年度 第1回基幹相談支援センター運営委員会 概要

日 時：令和6年6月11日（火）15：30～17：00

場 所：オンライン

出席者：16名 運営委員：近藤委員、高張委員、松本委員、

齊藤委員、尾形委員、辻委員、高松委員

（事務局：障がい福祉課2名、ワン・オール7名）

### 次第

- 1 令和6年度の事業計画について、ワン・オールから報告と質疑応答
- 2 基幹相談支援センターとしての中立性、業務の進め方、業務内容に関する各委員からの意見

### 扱われた内容（令和6年度事業計画に準じて報告）

#### ・個別相談支援業務

⇒ 個別相談支援の実績や傾向について報告。

#### ・委託相談支援事業の支援業務

⇒ 新任職員研修、共催研修の概要について報告。

⇒ 相談支援従事者研修におけるインターバル課題の対応や地域での事例検討会の開催について、委託相談支援事業所や主任相談支援専門員との役割検討を報告。

#### ・計画相談支援（障害児相談支援）の推進業務

⇒ 指定相談支援事業所対象の研修や報酬算定に必要な研修は、委託相談支援事業所と連携した開催が可能な区から取り組みを行っていくことを報告。

⇒ 『計画相談支援等マニュアル』改定への協力について報告。

#### ・地域相談支援の推進業務

⇒ 『地域相談支援マニュアル』改訂と『自立生活援助マニュアル』の作成協力について報告

⇒ ピアサポーター活用事業について、実績や傾向と、指定一般相談支援事業所と精神科病院への周知活動について報告。

#### ・障がい当事者による相談支援活動の支援業務

⇒ ピアサポーター交流会の開催状況について報告

#### ・札幌市自立支援協議会の事務局業務

⇒ 事務局業務および地域部会オブザーバー参加について報告。

#### ・誰もが住みやすいあしんのまちコーディネート業務の推進と周知活動

⇒ 支え合い研修実施に向けた取り組みについて報告。

⇒ 個別避難計画作成への関わり、各区に配置されている地域支援員との連携について報告。

等

## **運営委員からの意見**

### **<個別相談支援業務、委託相談支援事業の支援業務に関して>**

- ・精神科病院からの退院請求ケースについて、相談件数が多く、対応の検討が必要である。現在行っている行政や関係機関との連携を継続しながら検討していけると良い。

### **<計画相談支援（障害児相談支援）の推進業務に関して>**

- ・主任相談支援専門員の配置を把握できる仕組みがあると良い。
- ・委託相談支援事業所と協働した研修企画については、地域事情や課題も異なるため、区ごとに協働ができると良い。

### **<地域相談支援の推進業務、障がい当事者による相談支援活動の支援業務に関して>**

- ・就労支援の取り組みの中で、調査等を行った事業所向けに情報発信等を行うことで効果があったため、ピアサポーター活用業務の普及啓発活動の参考にしてほしい。
- ・ピアサポーターによる退院支援については、精神保健福祉士との連携の強化や、当事者間で効果を広げていくような働き掛けもできると良い。医療機関だけではなく、地域移行支援等で関わる相談支援事業所への周知も継続できると良い。
- ・過去の取り組みや実践も参考にできると良い。
- ・ピアサポーターの活躍の場が広がってきているため、棲み分けや情報の整理も必要である。

### **<札幌市自立支援協議会の事務局業務に関して>**

- ・地域課題の抽出に苦慮し、視点を変えながら活動をしている地域部会や、日々の業務の中から地域課題を抽出できるような習慣づけを目標に活動している地域部会もある。今後行われる自立支援協議会全体会にて意見交換もできると良い。
- ・地域課題の抽出が目的ではなく、地域に暮らしている人の生活が重ね合って地域課題になっていくという理解の元、課題の解決について検討できるような取り組みができると良い。

### **<誰もが住みやすいあんしんのまちコーディネート業務に関して>**

- ・町内会の人材不足もあるため、地域の様々な人たちとの協働体の中で活動を拡がられると良い。

等